

多焦点眼内レンズを用いた白内障手術を施行 厚生労働省の先進医療実施施設に認定

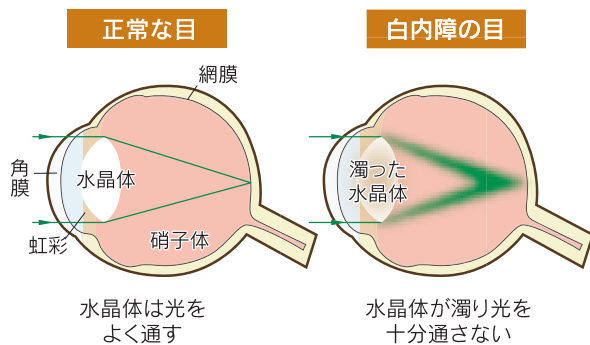
医療法人 優心会 眼科こがクリニック



院長
古賀 貴久

年間120万件行われる
白内障手術

身近な病気のひとつに白内障がある。目の水晶体が濁り視力低下を引き起こす病気で、



加齢などを原因に50歳台で増え始め、80歳以上のほとんどが発症する。一度濁った水晶体は自然に戻ることはなく、回復するためには濁った水晶体を吸引して眼内レンズを挿入する手術が必要となる。

白内障手術は技術の進歩により体への負担が少なく、日帰りが一般的となり、年間120万件行われている。顕微鏡を使って、小さな切開で濁った水晶体の吸引とレンズ挿入を行うため縫合も不要で、出血も痛みも少ない。手術時間も片眼15〜20分程度と短い。

白内障手術で用いるレンズには、それぞれ特徴の異なる「単焦点眼内レンズ」と「多焦点眼内レンズ」があり、いずれかを選択する必要がある。

「単焦点」と「多焦点」の違い

「単焦点」はその名の通り、



▲単焦点(左)は遠近のどちらかにしかピントを合わせられないが、多焦点(右)は遠近の両方にピントが合う

遠近のどちらか一方にピントを合わせるため、術後は近用または遠近両用の眼鏡が必要となる。健康保険適用で手術費用は数万円と比較的安価だ。

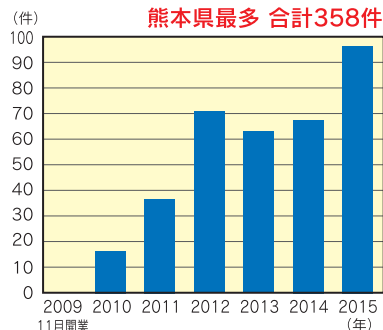
一方の「多焦点」は厚生省から認定を受けた先進医療実施施設のみが行える手術で、遠方と近方の2カ所でピントを合わせることができ、裸眼でも日常生活に支障がないのが特徴。手術を受けた人の約90%が裸眼で生活している。

ただし、夜間の運転時に眩しさを感ずることもあり、タクシーや長距離トラックの運転手などには不向きで、高齢者では見え方に慣れるのに時間がかかる傾向がある。手術費用は片眼40万円と単焦点に比べて高額だが、先進医療特約付き保険に加入していれば手術費用が給付されるので、予め保険内容の確認をした方がいいだろう。

多焦点で県内最多の実績

眼科こがクリニックは先進医療実施施設として、多焦点眼内レンズの手術実績が約400件と県内最多を誇り、医療関係者の受診も多い。経験豊富な眼科医と相談の上、自分のライフスタイルに合った術式を選択してほしい。

多焦点眼内レンズの実績
熊本県最多 合計358件



厚生労働省認定 先進医療実施施設
◎眼科こがクリニック



受付時間	月	火	水	木	金	土
8:30~11:30	●	●	手術	●	●	●
14:00~16:30	●	特殊検査	手術	●	休	休

休診日/日曜・祝日

TEL096-377-1701

完全予約制(必ずお電話ください)

〒860-0831 熊本市中央区八王寺町11-53

http://gankakoga.com

